

のぼのばかわら版

WD-40 MUP 200ml

潤滑・洗浄・保護・防錆等用途が幅広い潤滑剤、WD-40 MUP (マルチユースプロダクト) に、**新規格の200ml**が発売です。

スリムになり腰袋にも入れやすいサイズで、より持ち運びに便利になりました。



同封のチラシはほぼ実寸です。のぼのばのインスタグラムにてわちやわちや実演動画を見ることが出来ます！**チラシ同封**

ピークサンダル

チラシ同封

▼TS-06 HOLES 1.0
シューズタイプのサンダルです。

靴を履いているような安心感とサンダルのお手軽感の、いいとこ取りができる商品です。

着脱式インソールが**ピーク**独自の**ほわほわ**な履き心地を再現します。



▼TS-07 CROG

かかとバンドタイプのサンダル。場面に応じて使い分けられることができ、幅広いシーンで活躍します。3D立体インソールが、足裏にフィットします。

▼TS-03 DOME

ピークのほわほわな履き心地を実現するクッションテクノロジー「**TARCHI** (タイチ)」。



TS-06 HOLES 1.0

ホワイト × オレンジ

ブラック × オレンジ

そのタイチを、極厚インソールとして搭載。

抜群のクッション性

に加え、かかとを包み込むカップ形状が**安定性を生み出**します。

新製品

TS-03 DOME
オールブラック



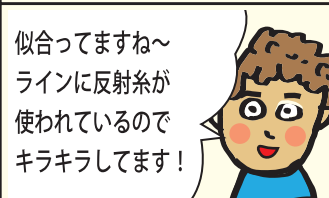
2025AW 岡本靴下

当社の靴下ランキングのトップを独占中の岡本靴下の秋冬モデルのラインナップを同封します。今季は**10倍シリーズ**の取り扱いを増やしました。**チラシ同封**

働くのばちゃん Vol. 429



商品管理の千葉です！ニットキャップを被ってみました！



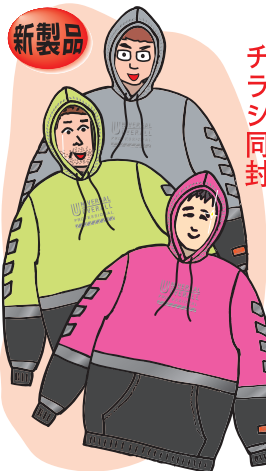
似合ってますね～ラインに反射糸が使われているのでキラキラしてます！



当社の倉庫にはいつもキラキラしている人がいますよ！



千葉主任、それはリフレクターじゃないです！



新製品

チラシ同封

9月1日より受注開始します。ご注文はお早めをお願いします。

人の暮らしを支える重要な仕事だからこそ、**安全性を備えつつもオシャレを楽しみ、かつこよく働いて頂きたいです！**

発売は9月末頃の予定ですが、

2025FW ラインナップです。ロンT、トレーナー、パーカー、ニットキャップの4型が発売です。今回もハイビズ (反射テープ) をデザインに落とし込んでいます。プライベートで着ても様になるデザインです。

ユニバーサルオーバール

発行者 (株)のぼのば
〒246-0001 仕事を楽しくする作業用品の企画販売会社
神奈川県横浜市瀬谷区卸本町9279-37
TEL 045-921-3561 FAX 045-921-5337
<http://www.yetian.com/>
毎月20日発行 第429号

奇跡!

先日「のぼお」は、姉、奥さんの三人で近所の焼鳥屋さんに行きました。

そこで大変な事が起きたのです。奇跡! が!!!

楽しく美味しく食べている時に「のぼお」は、ふと、

「あの人誰だっけ?」赤文字 のぼおと、二人に聞きました。

それは「のぼお」が、話に出た人の事を考えていたら、連想して出てきた人の事でした。

「え?」

「なんの事?」

「あの人だよ」

「誰?」

「どの人?」

「うーん、ちょっと名前を思い出せないんだ」

「のぼお」は、ただ頭に浮かんだだけの、その人の名前を思い出す事が出来ませんでした。

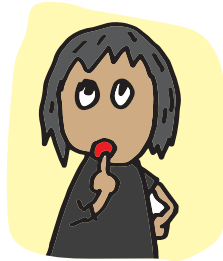
「知り合いの話? 有名人?」

「芸能人だね」

「男の人? 女の人?」

「女の人」

「女優さん? モデルとか?」



「女優さんだな」
「どんな女優さん?」
「どんなって、絶対二人共知ってるよ」
「いくつくらいの人?」

「うーん30代かな? もう40代?」

「映画に出てる人? テレビ?」

「テレビの方が多かった? かな」

「じゃあ、何のドラマに出てた?」

「それが思い出せない」

「それじゃ全然分かんないよ」

三人は携帯を取り出し調べ始めました。便利な世の中ですね。

「30代女優、と」

「それぞれで調べてんの? 自分違いうツで調べるよ」

それぞれが違う検索方法で延々と探しました。以下敬称略

「戸田恵梨香!」

「菜々緒」

「そんなの絶対知ってるよ!」

「榮倉奈々」

「待って! 私、40代調べるから」

「違う」

「何なのさつきから!」

「まあまあ、髪はどれくらい?」

「このくらいかな、もっと短い時もあったかな?」

「綺麗な人?」

「うーん、タイプではあるかな」



「色白?」

「肌色だな」

「何それ、そんなの分かる訳ないじゃん、やる気あんの?」

「もうやめようよ、あんたの頭に浮かんだだけでしょ」

「あっ、声がこんな感じだ」マネ

「持田香織?」

「それ歌手じゃん」

「そっか」

「これ無理じゃない?」

「やめよ、やめよ、違う話にしよう」

「違う話、、、」

「ちょっと! この人じゃない?」

「違うんだなあ」

「じゃあ、この人は?」

「そんなんじゃないよ」

「もうやめたんじゃないの?」

「だって気になるじゃん」

「いって、分かる訳ないもん」

「やめた方がいいって」

「みんな、カリカリしながら店を出る事にしました。」

「あ、待って!」

「絵を描いてみてよ」

「前の店行こっ!」

「あの店へ!」



皆んな「のぼお」が描く絵の事を上手いとは言いませんが、それなりに認めています。

「それいいね、ハジメちゃん書くモノない? 紙はいい、ナプキン」

「ココにあるから」

「のぼお」は、サラサラッとその人の似顔絵を描きました。

「こんな感じだよ」

「何それ、そんなの誰だって描けるよ!」

「似てるんだって! マジで」

「お店の人も参加してきました。」

「何か特徴ないんですか?」

「特徴って言われても、、、」

「あ、長澤まさみちゃんは?」

「ダメ」

「のぼおさん、ガッキーなんかはどうですか?」

「ぜんっぜん、ダメ!」

と、その時(どの時?)

姉が言いました

「鶴田真由!」

「そうそれ!」

「それだよ!」

「えー、お姉ちゃんすごーい」

「何で分かったんですか?」

「いや、ただコレを上から言っただけけど、、、」

「マジすごいよ! ホントにすごい! さすが!」

「スッキリしたね」

「奇跡でした」

